

表示証を手にする長谷川社長（前列左から2人目）



消防団協力事業所に

平田建設 土幌から表示証交付

【帯広発】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)は1日、土幌町から消防団協力事業所表示証の交付を受けた。高木康弘町長から表示証を手渡された長谷川社長は「有事の際には地域の

方的役に立てるよう体制を整えていく」と意気込みを述べた。消防団協力事業所制度は、従業員等が消防団員として2人以上入団し、積極的に消防団の活動に取り組

む事業所に対し、表示証を交付するもの。認定を受けた事業所は、取得した表示証の社屋掲示や自社ホームページなどでの公開が可能となり、事業所の信頼性向上に資することが期待される。

同社は、町が制度を制定した2016年度から協力事業所に認定されており、今回で4回目。これまで放水訓練への参加や、失踪者の搜索等の活動に協力している。

交付式には、長谷川社長のほか、消防団に入団する椿真嗣工務部副部長と竹市友彦土木課長らが出席。高

木町長が長谷川社長に表示証を手渡した。

高木町長は「本町に限らず、消防団員の方々が減少する中で入団してもらい感謝している。地域の消防力、防災力強化に今後も協力してほしい」と期待を寄せた。

長谷川社長は「出動の機会がない方が多いが、即応できるように訓練は続けていく。有事の際には地域の方々の役に立てるようさらに体制を整えていくとともに、火災や災害の予防活動に取り組んでいきたい」と意気込みを語った。